

# 消防のお知らせ



東京消防庁

公財団法人 東京連合防火協会

No.201 平成30.2

## 3月1日～3月7日 春の火災予防運動

平成29年度東京消防庁防火標語

### 火の用心 一人一人の心掛け

作者  
向井 洋平さん  
(葛飾区在住)

#### 高齢者を火災から守ろう!

高齢者は火災に気づいても避難行動に時間がかかるので、被害が大きくなってしまいます。高齢者を火災から守るため、地域ぐるみでの見守りや消火器・住宅用火災警報器の設置、防炎製品の使用などに努めましょう。



ポイント

#### 1 地域ぐるみで見守る

- 火災などの災害時における支援体制を決めておくなど、日頃からひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの人たちを地域で見守りましょう。



ポイント

#### 2 住宅用火災警報器の点検

- 住宅用火災警報器が鳴るか確認してください。鳴らない場合は電池切れや故障の可能性があります。
- 本体の交換時期は機種によって異なりますが、目安はおおむね10年です。



ポイント

#### 3 消火器の設置

- 消火器は初期消火にとても有効です。小型・軽量で高齢者や女性でも扱える一般住宅用消火器もありますので、家庭に備えておきましょう。



ポイント

#### 4 防炎製品を使う

- 調理中の火やストーブの火が衣類や布団に燃え移り、亡くなる高齢者が多くなっています。エプロンや寝具類などは防炎製品を使いましょう。



回覧 (裏面もご覧ください)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--





# 電気による火災を防ごう!

電気設備機器による火災は毎年1,000件前後発生しています。平成28年中は、1,052件発生し、全火災件数に占める割合は26.4%（約4件に1件）を占め、「放火」や「たばこ」による火災よりも高くなっています。  
火災になった要因の多くは「維持管理不適」・「取扱方法不良」です。

## 電気ストーブ

- 周囲に衣類や紙など燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 就寝時や外出時は電源をきりましょう。寝具類が接触したり、ベットの枠が熱せられて火災になった事例もあります。
- ストーブの上部に洗濯物を干さないようにしましょう。  
落下して火災になった事例もあります。



## コンセント・電気コード

- コンセントからプラグを抜くときは、プラグ本体を持ちましょう。
- コンセントは埃がたまらないよう掃除しましょう。特に家具等で隠れている所は注意しましょう。
- コードは折り曲げたり束ねた状態で使わないようにしましょう。
- テーブルタップは決められた容量内で使いましょう。



## 充電式電池

- 携帯端末などを外出先でも充電できるモバイルバッテリーや携帯電話、ノートパソコンなどに使用されている電池から出火する火災が増加しています。
- 原因の多くは「他社の充電器を使った」「飼い犬が噛んだ」など誤った取扱いによるものです。
- 取扱説明書の記載内容を守りましょう。



## 東京国際消防防災展 2018

Tokyo International Fire and Safety Exhibition 2018

2018年5月31日(木)～6月3日(日)

### 会場

江東区有明3-11-1 入場無料（登録制）  
東京ビッグサイト 東6.7.8ホール  
東棟屋外展示スペース

### 時間

10時00分から17時00分  
(最終日は16時30分まで)



同時期開催

第30回アジア消防長協会総会  
第70回全国消防長会総会

詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページへは  
こちらからアクセスできます



問合せ先